

2. 自治体SDGsモデル事業（特に注力する先導的取組）

2.1 自治体SDGsモデル事業での取組提案

(1)課題・目標設定と取組の概要

- 自治体 SDGs モデル事業名と、その取組の概要を記載すること。
- ここでいう「自治体 SDGs モデル事業」とは、「統合的取組」だけでなく、「経済・環境・社会の三側面の取組」と「統合的取組」のパッケージ全体を指す。提案様式3の取組イメージに記載している内容との整合性をとるよう留意すること。
- 2030 年のあるべき姿の実現に向けて、自治体SDGsモデル事業によって解決を目指す課題、達成を目指す目標（SDGsのゴール、ターゲット）について、記載すること。
- 記載するゴール、ターゲットの数に制限は設けないが、総花的なゴール、ターゲットの選択にならないよう留意すること。
- 全体計画の1. 1(3)「2030 年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール、ターゲット」、1. 2「自治体SDGsの推進に資する取組」へ記載している内容と重複する場合は【再掲】とし、モデル事業の2. 1(2)「三側面の取組」、2. 1(3)「三側面をつなぐ統合的取組」と記載内容が重複する場合は、【詳細は後掲】とするなど補足し、関連性が最も深い箇所へ詳細の説明を記載してください。
- 取組概要については、150 文字以内で記載すること。

(自治体SDGsモデル事業名)

[illegible]

(課題・目標設定)

ゴール〇〇 ターゲット〇〇

ゴール〇〇、ターゲット〇〇

ゴール〇〇、ターゲット〇〇

[illegible]

○○○○○○○○	
----------	--

(取組概要)※150 文字

○○

0000	
------	--

(2)三側面の取組

- 経済・社会・環境面のそれぞれの取組概要と、KPI、関連するゴール、ターゲットを記載すること。
 - ここで設定する KPI は、「2030 年のあるべき姿に向けた優先的なゴール」で掲げた KPI の達成に繋がることを意識し、成果・効果を捉えたアウトカム指標が設定されていることが望ましい。
 - 記載する KPI の数に制限は設けないが、定期的なフォローアップを簡易に行えるよう、適切な数の KPI を設定すること。
 - 全体計画の1. 1(3)「2030 年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール、ターゲット」、1. 2「自治体SDGsの推進に資する取組」、モデル事業の2. 1(1)「課題・目標設定と取組の概要」へ記載している内容と重複する場合は【再掲】とし、モデル事業の2. 1(3)「三側面をつなぐ統合的取組」と記載内容が重複する場合は、【詳細は後掲】とするなど補足し、関連性が最も深い箇所へ詳細の説明を記載してください。
 - 3年間の総事業費について、概算で記載すること。なお、資金スキームについては、「(7)資金スキーム」の欄に記載すること。
 - 取組の進捗管理の際には、以下の計算式を基本としKPIの達成度を測る。
- 達成度の計算式(基本式)
$$\frac{\text{現状値(進捗評価年の現状値)} - \text{当初値(計画時の現在値)}}{\text{目標値(2024年の目標値)} - \text{当初値(計画時の現在値)}}$$
- また、上記の基本式で計算できないKPI(人口、空家数など維持を目標とするKPI等)を設定した場合は、別の計算式を用いても構わない。その場合は、使用する計算式についても併せて記載すること。

達成度の計算式(基本式)

$$\frac{\text{現状値(進捗評価年の現状値)} - \text{当初値(計画時の現在値)}}{\text{目標値(2024年の目標値)} - \text{当初値(計画時の現在値)}}$$

- また、上記の基本式で計算できないKPI(人口、空家数など維持を目標とするKPI等)を設定した場合は、別の計算式を用いても構わない。その場合は、使用する計算式についても併せて記載すること。

④ 経済生活の発展

① 経済面の取組

ゴール、 ターゲット番号	KPI	
<div>アイコン ここに 貼り付け</div> ○, ○	指標: ○○○○	
	現在(○年○月): ○○○○	2024 年: ○○○○

①-1 ○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

[illegible]

(3)三側面をつなぐ統合的取組

(3-1) 統合的取組の事業名(自治体SDGs補助金対象事業)

- 三側面をつなぐ統合的取組の事業名とその概要を記載すること。
- 取組の概要については、150 文字以内で記載すること。
- 経済・社会・環境面の取組を統合し、相乗効果を発揮したり、トレードオフを緩和することを可能とする取組及び統合的取組による全体最適化（各側面の個別効果だけでなく、三側面のバランスが留意された、目標全体で適正な効果が得られているか）の概要とその課程における工夫もあわせて記載すること。
- 経済・社会・環境面の取組を再掲・再分類しただけの取組は該当しない。
- 3年間の総事業費について、概算で記載すること。資金スキームについては、「(7)資金スキーム」の欄に記載すること。

(統合的取組の事業名)

○○

(五) 鉛標面) 光澤 古裏

[illegible]

55555	
-------	--

(事業費)

3年間(2022～2024 年)総額: 〇〇十円

(統合的取組による全体最適化の概要及びその過程における工夫)

○○

(3-2) 三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果等(新たに創出される価値)

(3-2-1) 経済⇄環境

- 三側面をつなぐ統合的取組によりもたらされる相乗効果等について、KPI 及びその概要を記載すること。
- ここで設定する KPI は、「2030 年のあるべき姿に向けた優先的なゴール」で掲げた KPI の達成に繋がることを意識した上で、アウトプット指標又はアウトカム指標が設定されていることが望ましい。
- 例えば、「経済→環境」については、(3-1)で設定した三側面をつなぐ統合的取組を実施し、(2)で設定した経済面(環境面)の取組が推進されることにより、環境面(経済面)の取組に生じる効果(トレードオフの緩和及びシナジー効果)について記載すること。

例:○○○(三側面をつなぐ統合的取組)の活用により、経済面の○○○の取組が改良・改善され、環境面において○○○の増加という相乗効果(新しい価値)が創出される。

- 取組の進捗管理の際には、以下の計算式を基本としKPIの達成度を測る。

$$\text{達成度の計算式(基本式)} = \frac{\text{現状値(進捗評価年の現状値)} - \text{当初値(計画時の現在値)}}{\text{目標値(2024 年の目標値)} - \text{当初値(計画時の現在値)}}$$

※記載例

KPI(環境面における相乗効果等)	
指標:○○○○	
現在(○年○月): ○○○○	2024 年: ○○○○

○○○○(三側面をつなぐ統合的取組)の活用により、経済面の○○○○の取組が改良・改善され、環境面において○○○○の増加という相乗効果(新しい価値)の創出が見込まれる。

[illegible]

(社会→経済)

KPI（経済面における相乗効果等）	
指標: ○○○○	
現在(○年○月): ○○○○	2024 年: ○○○○

[illegible]

(3-2-3) 社会⇔環境

(社会→環境)

KPI（環境面における相乗効果等）	
指標：○○○○	
現在（○年○月）： ○○○○	2024 年： ○○○○

[illegible]

(環境→社会)

KPI（社会面における相乗効果等）	
指標：○○○○	
現在（○年○月）： ○○○○	2024 年： ○○○○

[illegible]

(4) 多様なステークホルダーとの連携

- 連携する団体・組織名と、モデル事業における位置付け・役割を可能な限り具体的に記載すること。
- 自治体 SDGsモデル事業の実施体制として、コンソーシアム等が形成されている場合には、その概要について記載すること。（今後形成する予定がある場合には、その旨明記すること。）
- 連携する団体・組織と調整中の理由により固有名詞等を記載することが困難な場合は、団体概要（例：民間企業、一般社団法人等）に留めて構わない。

団体・組織名等	モデル事業における位置付け・役割
〇〇〇〇	〇〇〇〇

(5) 自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

- モデル事業の事業スキームの概要及びスキーム図を記載すること。
- 地域経済活性化のために地域事業者や地域金融機関等の連携により自律的好循環を具体化する事業を記載すること。
- 自治体SDGsモデル事業が、将来的に補助金に頼らずに、事業として自走を目指していくことについて、財源確保等を踏まえて記載すること。

(事業スキーム)

[illegible]

事業スキームの図

(将来的な自走に向けた取組)

[illegible]

(6)自治体SDGsモデル事業の普及展開性

- 「自治体SDGsモデル事業」の、他の地域への普及展開として、取組体制、取組方法、取組内容等が、SDGsに取組む、他の地域にとって活用しやすい内容かといった観点を踏まえ、類似の背景、課題、資源を持つ地域への展開策を記載すること。

[illegible]

(7)資金スキーム

(総事業費)

- 自治体SDGsモデル事業での取組提案にかかる3年間の総事業費(2.1(2)及び(3-1)の事業費の合計額)について、概算額を記載するとともに、表に記載すること。

(活用予定の支援施策)

- 活用を予定している国の支援施策について、表に記載すること。必要に応じ、行を追加して記載すること。
- なお、記載の有無は、自治体SDGs推進関係省庁タスクフォースによる支援の申請条件となるものではない。

(民間投資等)

- 民間企業による投資等、地方公共団体の自主財源及び国の支援施策以外の財源の活用について、記載すること。できる限り、定量的に記載されていることが望ましい。

(総事業費)

3年間(2022～2024 年)総額:〇〇千円

(千円)

	経済面の取組	社会面の取組	環境面の取組	三側面をつな ぐ統合的取組	計
2022 年度	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
2023年度	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
2024 年度	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
計	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

(活用予定の支援施策)

支援施策の名称	活用予定 年度	活用予定額 (千円)	活用予定の取組の概要
---------	------------	---------------	------------

(8)スケジュール

- モデル事業(三側面の取組及び統合的取組)のスケジュールを記載すること。
- どの時期に何が達成されるか(例:○年○月までに拠点整備、○年○月までに人材育成プログラム開発等)がわかるよう具体的に記載すること。
- 現段階では、2022～2024 年のスケジュールはおおまかな予定で構わないが、各年度の進捗評価の際に、次年度のスケジュールを詳細に更新していただく予定である。

	取組名	2022 年度	2023 年度	2024 年度
統合	○○○○			
経済	○○○○			
社会	○○○○			
環境	○○○○			

※記載例

	取組名	2022 年度	2023 年度	2024 年度
統合	〇〇〇〇事業	事業計画の策定 (～8月) 〇〇協議会設立 (～10月) 〇〇〇〇の整備 (～1月) 試験運用 (～3月)	〇〇〇〇の本格運用 〇〇協議会の全員拡充	〇〇〇〇の普及展開
経済	①－1 〇〇〇〇の取組	〇〇導入検討調査 (～9月) 事業者募集 (～11月) 〇〇の開発 (～1月) 試験運用・実証調査 (～3月)	改良検討 本格運用	〇〇〇〇の普及展開
社会	②－1 〇〇〇〇の取組	〇〇計画の策定 (～9月) 事業者募集 (～11月) 〇〇の企画・準備 (～1月) イベントの実施 (～3月)	イベント実施 〇〇〇〇と連携した取組推進	
環境	③－1 〇〇〇〇の取組	〇〇導入検討調査 (～12月) 〇〇導入に係る〇〇の整備 (～3月)	〇〇の試験運用	〇〇の本格運用及び検証